

日本家庭教育学会第31回大会のご案内

◆大会テーマ 「グローバル時代の家庭教育」

◆主 旨

グローバリゼーションやグローバル化という言葉は、わが国でも定着しました。しかし、いままだに、グローバリゼーションとインターナショナル化（国際化）との違いはよく理解されていません。グローバリゼーションは地球をまるごと俯瞰する視点に立つのに対して、インターナショナル化は国境を前提として自国と他国との関係を見ようとしています。

1990年代以降の世界では、インターナショナルからグローバルへのモデルチェンジが進行してきました。交通網の整備やIT（情報技術）の飛躍的な発展に支えられるこの動きは、もう誰にも止められません。他方、グローバルな金融資本主義によって、貧富の格差が異様に拡がり、制御不能による金融恐慌がいつどこで発生するかもしれない不安を招き、文化の平準化までもたらすようになりました。

そのような負の側面も持つグローバリゼーションの潮流に、私たちはすでに巻き込まれています。第二次安倍内閣で発足した教育再生実行会議でも、グローバル人材の育成が急務だと対応が検討されてきました。しかし、海外への留学生を倍増するとか、小学生からの英語教育に力を入れることだけで、グローバル人材は育ちません。

日本人であれば、日本の伝統や文化をしっかりと学び、日本人としてのアイデンティティを持つようにならなければ、グローバル世界では通用しないのです。そうした人材育成の基礎は、やはり家庭にあると言えるでしょう。

本大会では、グローバル人材育成の第一人者である渥美育子先生を講師にお招きし、グローバリゼーションの本質と、とくにこれからの家庭教育のあり方を学びます。「目からウロコ」のお話に、驚かれる人は多いでしょう。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

◆日 時：平成28年8月20日（土）09：45～17：00

◆場 所：貞静学園短期大学

◆参加費（資料代）：1000円（懇親会参加者別途5000円）

◆時 程：

09：15 受付開始 09：45 開会式

10：00 個人研究発表

12：00 昼食・休憩（*全国理事会）

13：10～16：30 講演および全体会

16：40 会員総会

17：30 懇親会

*講師 渥美育子（あつみ・いくこ）氏。青山学院大学助教授からハーバード大学研究員へ。20年以上アメリカに滞在し、「グローバル教育」というジャンルをパイオニアとして開拓。先駆者として「タイム」誌で紹介され、IBM、デュポンなど世界のトップ企業を顧客に持つ。2007年帰国。引き続き、企業と学校を対象にグローバル教育による人材育成に尽力。教材「地球村への10のステップ」が、McGraw教育賞にノミネートされる。現在、一般社団法人グローバル教育研究所理事長、株式会社グローバル教育 代表取締役、株式会社マルチカルチュラル・プレーイングフィールド社長。

第31回大会 個人研究発表者募集

【応募資格】 日本家庭教育学会の正会員

*「『家庭教育研究』寄稿規定」の改訂（平成28年4月1日より）により、<投稿者は、原則として投稿に先立ち本学会大会もしくは本学会主催の研究会等において口頭発表をおこなった者とする>、という条項が加わりましたので、**本年度から『家庭教育研究』に投稿される方は大会発表を活用してください。**

【発表時間】 発表時間は20分、質疑10分とします。

【発表申込】 発表をご希望の方は、テーマ及び氏名・所属・住所・電話番号を明記の上、**平成28年6月15日**までに下記の連絡先までお申込みください。

【原稿提出】 締め切りは、**平成28年7月15日**です。なお、応募多数の場合には、大会準備委員会で選考させていただきます。申請者には発表用のフォーマットをお送りします。

【問合せ先】 研究発表をご希望の方は、下記までメールにてお申し込みください。

日本家庭教育学会事務局

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-23（旧映広ビル）

E-mail : jimuhesoj.com